令和６年度 神戸市政に対する要望

令和５年９月

神 戸 商 工 会 議 所

令和６年度　神戸市政への要望にあたって

神戸市においては、今年度補正予算の追加編成も念頭に、令和 6 年度の市政運営ならびに予算編成において、以降の項目を着実に実行されるよう要望する。

ビジネス変革の支援と次世代産業の育成

新型コロナウイルス感染症の分類変更を受け、地元中小企業に対する支援も緊急対応（感染防止対策、消費喚起策、資金繰り対策等）から、ビヨンドコロナを見据えたビジネス変革（事業再構築、DX 推進、脱炭素対応等）に重点を移していく必要がある。

一方で、エネルギー・原材料価格の高騰、人手不足は依然、経済回復への大きな障壁となっており、行政による施策立案と継続した支援が求められる。加えて、今後の神戸経済発展の牽引役として、医療・ロボット・水素等の次世代産業や関連スタートアップの育成・支援も重要である。産業政策として、芽吹いたシーズを地域で育て、地元企業と協業・マッチングする仕組みを構築するなど、早期に地域産業化していくことが求められる。

都市の価値を最大化する神戸空港の再起動に向けて

神戸空港については、まずは 2025 年の大阪・関西万博を万全な受け入れ体制で迎えるとともに（国内線発着数 80→120 回/日、国際チャーター便運用）、2030 年前後の国際定期便就航（発着数 40 回/日）、それ以降を見据えたハード・ソフト面の整備を加速させる必要がある。

整備にあたっては、空港へのアクセスや MICE、企業誘致など、国内外の先進都市・地域の状況を適切に把握し、参考にされたい。また、近隣地域や就航都市とも連携を密に取りながら、単にインフラ整備の枠組みに捉われず、国際都市・神戸の価値を最大化する視点で神戸空港の再起動に取り組まれたい。

グローバルに通用する都市観光戦略の立案

都心・三宮やウォーターフロント、港湾、道路など、都市インフラのハード面の整備は順調に進みつつあるものの、2030 年以降を見据えると、地域の魅力を結集したグローバルに通用する観光戦略を地元行政が主導して練り上げ（滞在型観光、六甲山活用、インバウンド誘客、MICE 推進等）、地域一丸となって国内外に発信、推進していく必要がある。

当面は 3,000 万人弱の来場が見込まれる 2025 年大阪・関西万博を最大限活用するため、機運醸成を図るとともに、観光誘客を促進し、神戸の観光資源・地域産業の魅力を世界に発信する施策を講じられたい。

令和５年９月

神戸商工会議所　会頭　川　崎　博　也

要　望　事　項

１．中小企業のビジネス変革・新事業展開支援

（1）ビジネス変革・事業再構築への支援
（2）DX 推進、セキュリティ対策強化に向けた支援
（3）脱炭素化・カーボンニュートラル実現に向けた支援
（4）販路開拓・ビジネス拡大に向けた支援

２．中小企業の事業継続に向けた持続的支援

（1）原油・原材料高騰の影響を受ける中小企業等への支援強化
（2）人材確保・育成に向けた支援
（3）事業継続に向けた資金繰り支援
（4）円滑な事業承継ならびに創業支援
（5）ファッション産業の振興
（6）地域商業の活性化に向けた支援

３．神戸空港国際化に向けた対応

（1）神戸空港の利用促進ならびに規制緩和に向けた働きかけ強化
（2）空港ターミナルビルの整備強化
（3）南北アクセス強化に向けた地下鉄導入の早期検討

４．まちの賑わいづくり

（1）滞在型観光の推進
（2）神戸固有の自然資産等を活用した観光振興
（3）インバウンド誘客促進に向けた支援
（4）MICE 誘致強化によるポートアイランドの活性化
（5）スポーツ・文化・芸術を活用した都市の魅力創造

【特別要望】2025 年大阪・関西万博の最大限活用

（1）インバウンドをはじめとする観光誘客の促進
（2）地元企業・産業のプロモーション促進
（3）機運醸成に向けた取り組み強化

５．都市基盤の整備

（1）都心・三宮の再整備加速化
（2）神戸港の国際競争力強化に向けた取り組み
（3）道路ネットワークの早期整備

６．神戸経済の次代を担う産業育成

（1）神戸のポテンシャルを活かした外資系企業の誘致強化
（2）地域経済を牽引するスタートアップ支援とエコシステムの実現
（3）神戸医療産業都市の推進

１．中小企業のビジネス変革・新事業展開支援

コロナ禍による社会全体の行動変容に伴い、多くの企業において、これまでのビジネスモデルの転換や既存事業の見直し、サステナビリティ経営など、新たな対応に迫られている。

ついては、ビヨンドコロナの社会を見据え、ビジネス変革や DX の推進、脱炭素化への取り組みなど、積極的に挑戦する企業を支援するため、以下の施策を進められたい。

（1）ビジネス変革・事業再構築への支援

- 事業再構築補助金、小規模事業者持続化補助金、ものづくり補助金、IT 補助金等の継続実施および支給要件緩和など弾力的運用に向けた国への働きかけ
- 新ビジネスや事業再構築の取り組みを促進する神戸市独自の補助制度の新設

（2）DX 推進、セキュリティ対策強化に向けた支援

- 中小企業 DX 推進支援補助制度の継続・拡充（補助率引き上げ、限度額拡充）
- DX 導入に向けて、中小・小規模事業者がデジタル化に取り組むための補助制度の新設
- 中小企業がデジタル化を実践するためのデジタル人材の育成・確保・活用支援
- サイバーセキュリティを強化する支援策の実施

（3）脱炭素化・カーボンニュートラル実現に向けた支援

- あらゆる相談にワンストップで応じる「脱炭素化に向けた総合相談窓口」の創設
- CO2 排出量削減や省エネ・再エネ設備に対する導入助成の拡充ならびにカーボンニュートラルに関わる新製品・新サービス開発の支援策強化

（4）販路開拓・ビジネス拡大に向けた支援

- 販路開拓に向けた取り組みに対する助成制度やマッチング機会の創出
- 海外事務所等の活用による海外販路開拓・輸出拡大に向けた機能強化、海外展示会等への出展機会提供

《会員企業からの意見》

- GX 推進事業（再生エネ等）に係る設備投資に対し、税負担の軽減や補助金の支給を大胆に行っていただきたい。【建設業】
- GX 推進には地域企業への導入支援として、GX に関する知見、情報、人材等の相談窓口や情報発信、補助金等の財源確保など、特に中小企業が導入しやすいよう、自治体にはサポートいただきたい。【ホテル】
- 中小企業の持続可能な経営実現のための手段の一つとして、デジタル化への技術的支援と DX 開発投資への助成金等々の継続的な支援をお願いしたい。【不動産業】

２．中小企業の事業継続に向けた持続的支援

社会経済活動は正常化しつつあるものの、国際情勢悪化によるエネルギー・原材料価格の高騰、それに伴うコストプッシュ型インフレ、さらには深刻な人手不足など、中小企業にとっては依然として厳しい状況が続いている。

これらの状況は長期化しており、早期改善も見込まれないことから、地域経済と雇用を支える中小企業が事業継続できるよう、以下の施策に取り組まれたい。

（1）原油・原材料高騰の影響を受ける中小企業等への支援強化

- 地域経済への影響を最小限に抑えるため、業種・業態、事業規模に応じたきめ細やかな支援策を講じ、中小企業等の事業継続を下支えすること
- 原油価格・物価高騰に係る神戸市独自の支援金制度の創設
- 取引適正化・付加価値向上に資する「パートナーシップ構築宣言」の普及促進

（2）人材確保・育成に向けた支援

- 若年層を呼び込む採用・転職支援イベントの開催や参加費用助成制度の創設
- 海外留学生を中心とした高度人材の地元就職を促進する支援施策・助成制度の新設
- 外国人労働者の採用支援強化（マッチングイベント開催など）

（3）事業継続に向けた資金繰り支援

- 制度融資等の金融支援制度の拡充
- 事業者向け税・社会保険料等の減免・納税猶予制度の創設
- マル経融資利子補給制度の創設

（4）円滑な事業承継ならびに創業支援

- 兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携および同センターの周知・広報支援
- 従業員承継や小規模事業者による M&A に係る資金など、買い手側のニーズに応じた支援策の創設
- 「事業承継支援資金」など公的融資の周知・利用促進
- 特定創業支援等事業への重点予算化（強化・拡充）

（5）ファッション産業の振興

- ファッション産業の振興・活性化を図るため、都心部やターミナル近接地等での地場産品の常設展示・販売場所の確保
- 2025 年大阪・関西万博での催事企画をはじめ、海外展示会の開催・出展、姉妹都市との連携、越境 EC など、神戸らしいファッション産業や地場産品の魅力を伝える海外プロモーションの取り組み支援

（6）地域商業の活性化に向けた支援

- 神戸市商店街若者・女性新規出店チャレンジ応援事業の拡充（補助率の引上げ）
- 空き店舗再生のためのリノベーション補助制度の拡充

《会員企業からの意見》

- 原材料高騰によるコストアップへの支援や人財確保への支援に関しては、外国の方や女性含む多様な人財への対応が必要。【食品製造業】
- 少子化による人材獲得課題が他の課題より顕著。人材確保については、若年層の新卒・中途採用に応じた助成、もしくは確保の機会をより一層推進していただきたい。【電気工事業】
- 特に原材料、エネルギー費高騰に対する支援をお願いしたい。今までに類を見ないペースで、各種食材原料価格が高騰し続けており、自助努力や価格改定を実施し対応を目指しているが、商品の市場競争性とのバランスからみると、それにも限界がある。これに加えエネルギー費高騰も重なっており、利益体質の改善は難航を極める。助成金等の支援をお願いしたい。【食品製造業】
- 兵庫・神戸の地場商品を一堂に集め、売場作りが可能な販売場所の確保。情報発信ならびに売上拡大に寄与出来る体制を構築したい。【ファッション】
- 外資系企業を誘致し、大企業が来てくれれば大きな経済効果があると思うが、地元の中小ものづくり企業や地場産業の振興にも力を入れ、地力のある神戸市にしていただきたい。【建設業】
- 兵庫・神戸にはすばらしいものづくりの技術や地場産業がたくさんあり、広げていくための支援策が必要。【食品製造業】

３．神戸空港国際化に向けた対応

昨年９月の関西３空港懇談会で合意を得て、神戸空港国際化に向けた道筋が示された。2025年国際チャーター便の運用開始、2030年前後の国際定期便就航に向けて、ターミナル整備等受入態勢に万全を期し、運用開始時の稼働率を高めるとともに、長期的な視点をもって神戸空港を成長発展させるため、以下の施策に取り組まれたい。

（1）神戸空港の利用促進ならびに規制緩和に向けた働きかけ強化

- 神戸空港国際化の認知度向上に向けたPR施策の展開
- 神戸以西の需要獲得に向けた積極的なプロモーション活動
- 2030年前後の国際定期便就航を見据えた国際チャーター便の誘致促進
- 発着枠拡大・運用時間延長、ひいては規制撤廃に向けた働きかけ
- 国際チャーター便・プライベートジェットの円滑な受入れに向けたCIQ体制充実の働きかけ強化

（2）空港ターミナルビルの整備強化

- 新ターミナル整備の着実な推進
- 2030年前後の国際定期便就航を見据えた新たなターミナル整備の早期検討
- カーボンニュートラルエアポート実現に向けた取り組み強化

（3）南北アクセス強化に向けた地下鉄導入の早期検討

- 抜本的な南北アクセス強化策となる『新神戸～三宮～神戸空港間を結ぶ地下鉄導入』について、神戸市が主体的に検討を進めること
- 生田川右岸線道路改良工事、新神戸トンネル南伸事業の早期完了に向けた予算措置

《会員企業からの意見》

- 神戸空港の機能強化については、国際線定期就航に加えて国内線拡充など、中核空港としての整備を遅滞なく進めてほしい。また、空港へのアクセスも含めて、特に南北のアクセスとしての地下鉄整備や新神戸駅へのJR在来線接続などの鉄道ネットワークの強化も検討いただきたい。【建設業】
- 神戸空港について、機能強化・利便性の向上もさることながら、2025年には開港20周年を迎え、グローバルな玄関口となるべく、環境等にも配慮したシンボリックな存在となる必要がある。【エネルギー】
- MICE誘致と神戸空港国際定期便就航獲得に向けて、ポートアイランドと市街地のアクセス強化が求められるため、より充実した交通インフラを整備いただきたい。【ホテル業】

４．まちの賑わいづくり

ビヨンドコロナに向けてまちの賑わいを取り戻し、さらなる発展につなげるためには、これまで観光面で神戸が抱えていた課題解決を図るとともに、新たな時代に対応した観光誘客やまちづくり等に取り組むことが不可欠となる。

また、神戸空港国際化の決定により、ポートアイランドの重要性が高まる中、活性化に向けたソフト・ハード両面での各種施策の実行が求められる。

ついては、神戸が世界から選ばれる都市となるため、以下の施策に取り組まれたい。

（1）滞在型観光の推進

- ひょうご観光本部や関西観光本部など、近隣 DMO 等と連携した広域での観光誘客の推進
- 新たな体験型観光コンテンツの造成やナイトタイムエコノミーの推進など、滞在型観光につながる施策実施
- 滞在型観光促進に向けたインセンティブ付与（宿泊補助の実施など）

（2）神戸固有の自然資産等を活用した観光振興

- 六甲山や須磨海岸、布引の滝など、神戸固有の自然資産を活用した体験アクティビティ開発・情報発信
- 都心部から六甲山に直結する新たなアクセス整備

（3）インバウンド誘客促進に向けた支援

- 市内企業の訪日外国人観光客受入れ態勢の整備や販促につながる支援策の展開
- 神戸の共通 PR ツールの開発、効果的な海外プロモーションの実施
- 外国人観光客を対象とした着地型コンテンツ開発、ナイトタイムエコノミー推進

（4）MICE 誘致強化によるポートアイランドの活性化

- 2030 年を目途とした展示場新設・リニューアルなど、神戸コンベンションセンター再整備に向けた取り組み強化
- 神戸の強み（水素等）を活かしたグリーン MICE の推進、MICE 誘致促進

（5）スポーツ・文化・芸術を活用した都市の魅力創造

- 「神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会」を契機とした神戸の魅力発信、市内周遊促進に向けた施策実施
- 「神戸アリーナ」を活用したウォーターフロントエリア周辺の活性化、近隣エリアとの相乗効果の発揮
- 多様な歴史遺産や神戸独自の文化・芸術を活用した誘客コンテンツの開発・情報発信

《会員企業からの意見》

- インバウンド対策を本気で行う必要がある。周辺の京都などはオーバーツーリズムになっており、神戸においても着地型コンテンツの開発とナイトタイムの楽しみ方などの整備が必要。【旅行業】
- スルー型ではなく滞在型の観光客を増やすため、ホテルや旅館など宿泊施設の宿泊費を補助するといった施策が必要。【食品製造業】
- MICE 開催は様々な産業へ裾野の広い経済波及効果を生み出し、地域活性化・中小企業振興にも効果的。MICE 誘致の優位性を高めるため、年々高まる開催要求基準を満たし、高機能で持続可能な新しいコンベンションセンターの整備が必須。【ホテル業】

【特別要望】2025 年大阪・関西万博の最大限活用

2025 年大阪・関西万博には半年間で約 2,820 万人、うち海外からは約 350 万人の来場が見込まれており、神戸の魅力を世界へアピールする絶好の機会となる。

ついては、この好機を確実に捉えるため、以下の施策に取り組まれたい。

（1）インバウンドをはじめとする観光誘客の促進

- 神戸独自の観光資源や地場産業などの魅力を活かした誘客戦略の立案・推進
- 姉妹・友好・親善協力都市へのプロモーション強化
- ひょうご観光本部、関西観光本部をはじめとする近隣 DMO との連携による誘客促進
- 万博会場（夢洲）と神戸港・神戸空港をつなぐ海上アクセスの設置
- 「瀬戸内国際芸術祭 2025」との連携によるインバウンド誘客
- 万博開催時を見据えた市内の Wi-Fi 整備強化、周遊化促進に向けた MaaS 整備

（2）地元企業・産業のプロモーション促進

- 博覧会協会が主催する催事やテーマウィークなどに神戸市が主体的に参加枠を確保し、地元企業に参加機会を提供すること
- 神戸医療産業都市やファッション産業など、神戸の強みを活かせる分野の産業プロモーションならびに関連企業の誘致促進に向けた取り組み強化
- 万博開催期間中の国際会議誘致促進（一部経費助成制度の創設など）
- 万博を契機とした国内・海外ビジネス視察団の誘致

（3）機運醸成に向けた取り組み強化

- 市内主要施設での万博ポスター掲示やシティドレッシングによる認知度向上に向けた取り組み
- 神戸まつり・みなと HANABI などの既存イベントの万博仕様化、万博関連イベントの開催
- 開幕 500 日前や 1 年前などを契機とした、神戸市独自の機運醸成イベントの開催

《会員企業からの意見》

- 2025 年万博に向けて観光客を取り込もうとするだろうが、一時の特需だけで終わらず、万博後のことも見据えた施策をお願いしたい。【建設業】
- 大阪・関西万博での兵庫・神戸ブース展開に向けて、場所の確保・提供をお願いしたい。訪日外国人に対して商品紹介・販売をすることは勿論だが、商品・国別・販売ルートの各情報の収集等や、学習・研究開発を重ねて海外売り上げの推進強化にもつなげていきたい。【ファッション】

５．都市基盤の整備

都心・三宮やウォーターフロントをはじめ都市基盤の整備が進む中、激化する都市間競争を勝ち抜くためには、各プロジェクトの相乗効果により神戸が持つまちの魅力を最大限発揮し、いかにして国内外から人や企業を呼び込むかが重要になる。

ついては、既存プロジェクトの着実な実行とともに以下の取り組みを進められたい。

（1）都心・三宮の再整備加速化

- 都心・三宮再整備プロジェクトの加速化、着実な推進
- ウォーターフロントエリア整備の着実な推進、近隣エリアとの回遊性向上に向けた施策実施
- 新神戸駅前における賑わい機能の整備促進

（2）神戸港の国際競争力強化に向けた取り組み

- 神戸港のカーボンニュートラルポート実現に向けた取り組み強化
- 地元企業の水素エネルギー利活用に向けた取り組みの推進

（3）道路ネットワークの早期整備

- 大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）の早期開通に向けた働きかけ
- 神戸西バイパスや名神湾岸連絡線など周辺道路ネットワークとの一体的かつ早期整備に向けた働きかけ

《会員企業からの意見》

- 阪神高速道路等の整備推進について、名神湾岸連絡線が令和３年度予算において新規事業箇所とされたが、すでに着工している大阪湾岸道路西伸部と一体的に整備されることによって、阪神高速３号神戸線の渋滞緩和はもとより、物流の活性化、災害時の緊急輸送や代替路の確保に資する。重要な道路であり、早期着工を図っていただきたい。【運送業】
- 神戸港の強みでもあるコンテナターミナルだけでなく、複合ターミナルの整備強化にも（ロボット化、水素利用含む)、先駆けて取り組んでいただきたい。【倉庫業】
- 三宮駅再開発（JR 三ノ宮駅含む）での進捗情報などを適時開示し、地元企業にビジネスチャンスを提供いただきたい。【ファッション】

６．神戸経済の次代を担う産業育成

地域経済を将来に向け発展させるには、コロナ禍で加速した社会経済の変化を的確に捉えつつ、神戸の次代をリードする企業誘致や産業育成、関連スタートアップの育成・支援、既存産業のイノベーション創出を図ることが不可欠となる。さらには、芽吹いたシーズを地元企業との協業につなげるなど、地域産業として定着させる取り組みも重要となる。

ついては、産業育成やそのための事業環境の整備に向け、以下の取り組みを進められたい。

（1）神戸のポテンシャルを活かした外資系企業の誘致強化

- 外国語対応可能な士業など、外資系企業誘致に有効な専門性の高いビジネスの誘致促進
- 外国人留学生向けインターンシップの推進、受入企業支援など、国際人材育成・確保に向けた取り組み
- 外資系企業の外国人社員子女が通うインターナショナルスクールへの支援拡充

（2）地域経済を牽引するスタートアップ支援とエコシステムの実現

- 「ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム」の活動強化、認知度向上に向けた展開
- スタートアップ支援に積極的な投資家やアクセラレータの誘致促進
- 医療やバイオ、水素など神戸の強みが活かせる分野に重点を置いたスタートアップ誘致
- スタートアップが市民向けサービスの実証事業を行える環境づくり

（3）神戸医療産業都市の推進

- 医療産業都市内で芽吹いたシーズを発掘し育て、地元企業と協業・マッチングする仕組みを構築するなど、「産業化」を強力に推進するプログラムの構築と推進組織・体制の整備
- 市内をはじめとする国内外へのメディカルクラスターの特長の発信ならびにその特長を活かした医療ツーリズムの推進
  （治療：小児がん、眼科、リハビリ／検診：がん、希少疾患に対する遺伝子検査など）
- 2025 年大阪・関西万博を契機とした医療産業都市の PR 強化、関連企業の誘致促進

《会員企業の意見》

- シンガポール・東京と比較した神戸のデメリットは、言語の壁、国際人材の確保の難しさ。外国企業が開業を考える際に、英語で対応できる士業の存在も大きい。【不動産業】
- 国際感覚豊かな人材の集積が重要。そのためには、外国人留学生の兵庫・神戸への定着策が必要であり、留学生向けインターンシップ事業の活用が有効。【士業】
- 神戸医療産業都市として医療関連企業や病院、研究機関・大学が集積する強みを広く国内外にアピールし、さらなる集積を図り、産学官医連携のもと、具体的なイノベーション創出をさらに進めていただきたい。【建設業】

以　上